

第七十九回 帝國議會
衆議院

米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員會議錄(速記)第八回

會議

昭和十七年二月二日(月曜日)午前十時二十

分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 三善 信房君

理事岩瀬 亮君

理事森田重次郎君

理事森田喜三太君

理事森田喜三太君

理事森 幸太郎君

石井徳久次君

北勝太郎君

岡田喜久治君

高田 耘平君

東郷 實君

松浦周太郎君

村上 國吉君

山田 六郎君

田代 正治君

林讓治君

野溝 勝君

平野 力三君

一月三十日委員由谷義治君辭任ニ付其ノ補

闕トシテ土屋清三郎君ヲ議長ニ於テ選任セリ

二月二日委員淺沼稻次郎君及村松久義君辭

任ニ付其ノ補闕トシテ須永好君及大島寅吉

君ヲ議長ニ於テ選定セリ

出席國務大臣左ノ如シ

農林大臣兼拓務大臣 井野 碩哉君

出席政府委員左ノ如シ

農林次官 三浦 一雄君

農林省農政局長 岸 良一君

農林省山林局長 井出 正孝君

農林省食品局長 辻 謙吾君

農林省資材部長 岡本 直人君

農林書記官 笹山茂太郎君

食糧管理局長官 湯河 元威君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

木炭需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

木炭需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)

アルト思ヒマスケレドモ、實際ヲ見ルト、其ノ最高ト云ヒマスカ一等米ト云ヒマスカ各方面全全部ガ一等米ニナツテ居ルデハナ

イカト私ハ思フ、ドウナンデスカ、若シ一等米デアルトスレバドウモ甚ダ不合理ノ話

デゴザイマスシ、私ハ實ハ實行シ得ベキ等級ヲ附ケテ貴ヒタイト思フ、即チ成程オ米ハ生活必需品デスカラ安イ方ガ宜イガ、併シナガラ相當ニ富裕ナ人ハ米ガ一升デ五錢

八錢高イタツテ、ドウモソレガ爲ニ一般物價ノ向上ヲ來ス原因ニナルトハ思ヘナインデ、農民カラ買フ方ハ相當ニ整理シマシタケレドモソレニシテモヤハリ等級ガアル

サウスレバ賣ル方モヤハリ等級ヲ付ケテ、サウシテ一等米ハ幾ラ、二等米ハ幾ラ、三等米ハ幾ラト云ツテ賣ル方ガ宜イト思フノ

デスケレドモ、其ノ點ハドウ云フ御考ヘナシデスカ、今マデモ等級ハアリマスケレドモ、實際ハ行ハレナクテ、皆ナ一等米デアル、カト云フト、商業組合ノ幹部トカ、或ハ親戚トカ、或ハ雇員トカ云フ者ハ常ニ一等米

ノ給供ヲ受ケテ居ル、何モ關係ノナイ人ハ同ジ金ヲ出シテモ旨クナイ米ヲ食ベルト云

アリマス、多分今デモ農林商工兩省カラ出

テ居ル省令カ何カデ米ノ販賣價格ニ等級ガ

付託議案	米穀需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)(第五號)
本臨時補足ニ關スル法律案(政府提出)(第三號)	木炭需給調節特別會計法中改正法律案(政府提出)(第一三號)
鬱醫師法(第二條ノ臨時特別例ニ關スル法律案(政府提出)(貴族院添付))	鬱醫師法(第二條ノ臨時特別例ニ關スル法律案(政府提出)(第一三號))
正法律案(臘虎脰臍獸獵獲禁止ニ關スル法律案(政府提出)(貴族院添付))	正法律案(臘虎脰臍獸獵獲禁止ニ關スル法律案(政府提出)(第一三號))
(第七六號)	(第七五號)

マシテ、小賣等級ヲ廢メテシマフト云フコトニナリマスト、是ハ只今高田委員ノ仰セテモ、經濟ノ實體カラ申シマシテモ、ソレハ却テ宜クナイ、ヤハリ政府ガ管理致シテ居ル米デ申シマシテモ、良シ惡シハ付ケ得ル限り付ケタ方ガ宜イト思フノデアリマス、餘リニ是ガ無用ニ複雜ニナルコトハ無論避ケナケレバナリマセヌガ、或ル程度、社會ノ實情ニ即應スルヤウニ致シタイト思ヒマス、唯之ヲヤリマスニハ、何分ニモ只今ノヤウナ非常ニ米ノ足リマセヌ時デスト、一等米、二等米、三等米トソレドモ、店先ニ準備シテ置クト云フ餘裕モゴザイマセヌ、此ノ點ハ將來少シ緩和サレタ時デナイト實現ノ難カシサガアルノデヤナイカト思ヒマスモウ一つハ只今白米ノ検査制度ヲ完全ニヤツテ居リマセヌ、隨ヒマシテ果シテ是ガ本當ニ規格ニ合ツテ居ルカドウカト云フコトニ付キマシテ、制度ガ十分出來テ居リマセヌ、是等ハ今後管理食糧ノ配給上、消費者ノ方面ニ重大ナ關係ノアルコトニアリマスカラ、私達ト致シマシテハ只今申上ゲマシタヤウナ考ヘ方デ、將來改善シテ參リタ伊トイ思ヒマス。

○高田委員 分リマシタ、ドウゾサウ云フ風ニ御願ヒ致シマス、ソレカラ第三ハ營團ノ役員選任問題ノ、是ハ重複ニナツタラドデス、ソレガ一昨年カラ殆ド形ガアツテモ實質ハナクナツタ、勿論全部ノ米ヲ政府ガ買上げテ之ヲ配給スルト云フコトニナツタヒマスケレドモ、併シ御手許金マデ仰イデスカラシテ、豐作ノヤウナ時ニ、ドウ云フ形式ガ宜イカ分リマセヌガ、兎ニ角五年カ六年ノ内ニ大凶作ガアルト云フコトハ今日デハ分ルノデアリマスカラ、凶作ニ備ヘル爲ニ貯穀制度ヲ實行サレルト云フコトハ此ノ地方ノ民心ノ安定ヲ得セシムル上カラヤツタ方ガ宜イト思フノデスケレドモ、ドウ云フコトニ御考ヘデアルカ、若シヤルトスレバ今度ノ法令ノ儘デソレガ實行シ得ル見込デゴザイマスカ。

○井野國務大臣 郷倉制度ノ問題ハ高田委員ノ仰セノ通り種々ノ沿革ヲ以テ進ンデ參リマシタノガ、最近販賣米ニ付キマシテ全部國家管理ニナリマシタノデ、今御述ベノヤウナ狀態ニナツタノデアリマス、是ハ農林省トシマシテモ是非此ノ制度自體ハ殘シテ參リタイト考ヘマス、現在ニ於キマシテは事務的ニ見レバ手數ガ要リマセウケレドモ、サウスル方ガ合理的デ公平デアリマスカラ、多少ノ事務的ニ面倒ナコトハソレハナントカ考ヘテ、人手モ餘計要リマス、費用モ餘計ニ要リマスケレドモ、サウ云フコトニ御願ヒ致シタイト思ヒマス、ソレカラ第二ハ東北方面ニ於ケル貯穀制度ノ問題、是ハ從前ノ大凶作ノ時カラ東北方面ニ於テ鄉倉ヲ造ラシテ豐作ノ年ニ之ヲ

貯藏シテ置イテ、凶作ノ時ニ之ヲ地方民ニ配給ト云フ言葉ハ宜イカドウカ分リマセヌガ、兎ニ角ヤル、斯ウ云フ制度ガアツタノデス、ソレガ一昨年カラ殆ド形ガアツテモ實質ハナクナツタ、勿論全部ノ米ヲ政府ガ買上げテ之ヲ配給スルト云フコトニナツタヒマスケレドモ、併シ御手許金マデ仰イデスカラシテ、豐作ノヤウナ時ニ、ドウ云フ形式ガ宜イカ分リマセヌガ、兎ニ角五年カ六年ノ内ニ大凶作ガアルト云フコトハ今日デハ分ルノデアリマスカラ、凶作ニ備ヘル爲ニ貯穀制度ヲ實行サレルト云フコトハ此ノ地方ノ民心ノ安定ヲ得セシムル上カラヤツタ方ガ宜イト思フノデスケレドモ、ドウ云フコトニ御考ヘデアルカ、若シヤルトスレバ今度ノ法令ノ儘デソレガ實行シ得ル見込デゴザイマスカ。

○高田委員 分リマシタ、ドウゾサウ云フ風ニ御願ヒ致シマス、ソレカラ第三ハ營團ノ役員選任問題ノ、是ハ重複ニナツタラドデス、ソコガ餘程難カシイノデアリマシテ、少シノ、實際ノ經驗ノナインデモ困リマスケレドモ、純然ナル商賣人上リデ公益心ノ少イ人ガ理事長ニナツテ居ルト餘リ良イコトヲセヌヤウデアリマス、私ノ縣ナドノ實例ヲ言フト、菓子工業組合ノ理事長、砂糖ノデゴザイマス、是ハ近頃總テ斯ウ云フ方向ニ向ツテ居ツタノデスカラ、私ハ敢テ異議ハ申シマセヌ、而シテ中央營團ノ役員ニ付テハ、是ハ大臣ガ相當ニ公平ニ有力ナル德望ノ高イ人ヲ御選任ニナルコトト信ジマス、併シナガラ若シソレヲ誤ルト營團ノモノノノ信用ヲ害スルノミナラズ、消費者ニ對シテモ少カラザル迷惑ヲ掛ケルヤウニナルト思ヒマスカラシテ、其ノ點ヲ能ク御注意ヲ願ヒタイト思ヒマス、日本米穀會社ハ松村君ガ理事長デアルト思ヒマス、其ノ下ニ専務ヤ何カガ居ルヤウデスケレドモ、名前ハ申シマセヌガ、ドウモ相當ニ非難ノアル人ガアル、故ニ餘リエライ働キ手トカ辣腕家ト云フヤウナ人ハ成ベク避ケテ、實直ナ人ヲ選ンデ戴キタイト私ハ思フ、名前ハ言ヒマセヌケレドモ、實際ドウモ吾々ノ方ニ對シテ或ル人ノ各種ノ非難ガ盛シニ參ル、私ハソンナコトハ信ジマセヌガ、兎モ角何等カノ缺陷ガアルノデハナイカト思フ、中央營團ノ役員ハ大臣閣下ガ主トシテ御選任ニナルコトト存ジマスカラ、今日マデノヤウナ間違ヒハナイト思ヒマスケレドモ、努メテ置クト云フ方針デ今折角研究シテ居リマス、隨テ法律ヲ廢止致シマシテモ勅令ノ上ニソレガハツキリ書ケルヤウニ致シテゴザ

○井野國務大臣 食糧營團ノ首腦部ノ人事ニ付キマシテハ、今高田委員ノ御述ベノ通り、中央ト云ハズ、地方ト云ハズ、極メテ慎重ニ考慮シテ行カナケレバナラスト思フノデアリマス、中央營團ニ付キマシテモ御述ベノ通リ其ノ首腦部ニナル人ノ人格手腕共ニ私トシマシテモ十分注意シテ人選ヲ致シテ參リマス、又重役陣ニ付キマシテモ現在ノ制度ニ缺陷ガアリマスレバ其ノ點ハ方針デモ成ベク斯ウ云ツタヤウナ公益機關ノ首腦部ハ、民間カラ選ベト云フ御希望

が強ク、官吏等ノ古手ヲ持ツテ來テハイカ
スト云フノデアリマスカラ、無論サウ云ツ
タヤウナ氣持デ選ブノデアリマスガ、又民
間業者ノ中ニハ今御述べノヤウニ公的觀念
ニ乏シク、私利ヲ其ノ間ニ得ルト云フモノ
モアリマスカラ、ソレ等ハ府縣知事ト能ク
相談致シマシテ、人格ノ成ベク高潔ナ而モ
手腕ノアル——サウ云フ人ヲ得ルコトハ中
中難カシイト思ヒマスガ、併シソレニ努力
致シタイト考ヘテ居リマズ

○高田委員 能ク衆議院デ附帶決議ヲスル
所ノ役人上リガイケナイト云フ點ニ付テハ
私モ大抵賛成デスケレドモ、役人デモ良イ
人ナラ宜イノデス、私個人トシテハ寧ロ地
方營團ナドニアツテハ商買人上リノ營利追
求デ終始シテ居ツタ人ヨリモ、役人上リガ
宜イトハ言ハスケレドモ、其ノ方ガ寧ロ真
面目デアルカモ知レマセヌ、實際カウ言ツ
タラ是ハ逆ナコトデスガ、中々商買人ト云
フモノハ油斷ノナラヌモノデ、商買人ノ取
ツタ統計ヲ基礎ニシテ算盤ヲ彈イテ見テ、
色々ナ設計トカ或ハ配給計畫ヲ立テラレテ
相當誤マラレテ居ルノデハナイカト思フ點
モアルノデスカラ、私ハ能ク附帶決議ナド
デ、役人ノ古手ハイカヌナドト云フコトハ
申シマセヌ、役人ノ古手デモ役ニ立ツ良イ
人ナラ私ハ寧ロ其ノ方ガ宜イト思ツテ居リ
マス、其ノ方ガ間違ヒナイト思ヒマス、是
ハ御参考ノ爲ニ私ノ考ヘラ申上げテ置キマ
ス、但シ餘リ澤山ノ俸給ヲ取ラナイヤウニ
御注意願ヒタイ、是ハ宜シクアリマセヌ、
誰モ知ラヌカラマダ宜イガ、局長上リノ人
ガ一万圓モ二万圓モ取ツテ居ル、アナタ方
モ知ラナイ方法デ取ツテ居ルカラ新聞ニモ
出マセヌガ、是ハ局長級位ノ人ガ辭メテ恩

給ヲ戴イテ、サウシテ一万五千圓、何ンダ
ス彼シダニ二万圓モ取ツテ居ルト云フコトガ
タヤウナ氣持デ選ブノデアリマスガ、又民
間業者ノ中ニハ今御述べノヤウニ公的觀念
ニ乏シク、私利ヲ其ノ間ニ得ルト云フモノ
モアリマスカラ、ソレ等ハ府縣知事ト能ク
相談致シマシテ、人格ノ成ベク高潔ナ而モ
手腕ノアル——サウ云フ人ヲ得ルコトハ中
中難カシイト思ヒマスガ、併シソレニ努力
致シタイト考ヘテ居リマズ

○高田委員 能ク衆議院デ附帶決議ヲスル
所ノ役人上リガイケナイト云フ點ニ付テハ
私モ大抵賛成デスケレドモ、役人デモ良イ
人ナラ宜イノデス、私個人トシテハ寧ロ真
面目デアルカモ知レマセヌ、實際カウ言ツ
タラ是ハ逆ナコトデスガ、中々商買人ト云
フモノハ油斷ノナラヌモノデ、商買人ノ取
ツタ統計ヲ基礎ニシテ算盤ヲ彈イテ見テ、
色々ナ設計トカ或ハ配給計畫ヲ立テラレテ
相當誤マラレテ居ルノデハナイカト思フ點
モアルノデスカラ、私ハ能ク附帶決議ナド
デ、役人ノ古手ハイカヌナドト云フコトハ
申シマセヌ、役人ノ古手デモ役ニ立ツ良イ
人ナラ私ハ寧ロ其ノ方ガ宜イト思ツテ居リ
マス、其ノ方ガ間違ヒナイト思ヒマス、是
ハ御参考ノ爲ニ私ノ考ヘラ申上げテ置キマ
ス、但シ餘リ澤山ノ俸給ヲ取ラナイヤウニ
御注意願ヒタイ、是ハ宜シクアリマセヌ、
誰モ知ラヌカラマダ宜イガ、局長上リノ人
ガ一万圓モ二万圓モ取ツテ居ル、アナタ方
モ知ラナイ方法デ取ツテ居ルカラ新聞ニモ
出マセヌガ、是ハ局長級位ノ人ガ辭メテ恩

給ヲ戴イテ、サウシテ一万五千圓、何ンダ
ス彼シダニ二万圓モ取ツテ居ルト云フコトガ
タヤウナ氣持デ選ブノデアリマスガ、又民
間業者ノ中ニハ今御述べノヤウニ公的觀念
ニ乏シク、私利ヲ其ノ間ニ得ルト云フモノ
モアリマスカラ、ソレ等ハ府縣知事ト能ク
相談致シマシテ、人格ノ成ベク高潔ナ而モ
手腕ノアル——サウ云フ人ヲ得ルコトハ中
中難カシイト思ヒマスガ、併シソレニ努力
致シタイト考ヘテ居リマズ

ノ數量以外ニ配給モ致シテ居リマス、マア色々數量上ノ缺點ニ付キマシテハ他ノ手段デ補ツテハ居ルノデアリマス、併シ十分デナイ點モアルコトハ私モ能ク承知致シテ居リマスカラ、成ベクサウ云ツタ方面ニハ、十分トハ參リマセヌデモ、食ニ缺クト云フコトノナイヤウニ配慮ハ致シテ參ラナケレバナラスト考ヘテ居リマス、外米ヲ輸入シマシタモノハ全部貯藏スルト申スノデハナイノデアリマス、出來ルダケ船舶ノ都合ノ付キ次第外米ヲ入レマシテ、サウシテ不足ノ部分ニ對シテハ外米ヲ以テ補ヒ、尙ホ餘リアレバ貯藏ニ充ツルト云方針デ進ミタイト考ヘテ居リマス、隨テ、先般モ豫算總會其ノ他デモ色々御尋ネガアリマシテ御答ヘシタヤウニ、勞働階級ニ對シテハ、特ニ鑛山、山林其ノ他ノ労働者ニ對スル特別配給ニ付キマシテ、食糧管理局等ニ於テ色々地方廳トモ相談フ致シ、最近ハサウ云ツタ方面ニハ、十分デハアリマセヌガ、多少殖ヤシテ配給致シテ居リマス、サウ云ツタヤウナ考慮ヲ今後モ十分加ヘテ參リマシテ、今高田委員ノ御述ベニナリマシタヤウナ趣旨ニ副ツテ參リタイト考ヘテ居リマス

○高田委員 ドウゾ一ツ、先づ労働者ト青壯年ニハ相當ニ配給量ヲ増スコトノ御計ラヒヲ願ヒタイト存ジマス、是ハ非常ニ事務的ニ言フト面倒ダト思ヒマス、各戸々々ノ家族ノ年齢カラ何カラズツド調べテ行カナケレバナラヌノデスカラ非常ニ面倒ズケレドモ、併シ出來ナイコトハナイト思ヒマス、是ガ二年カ三年デ今ノヤウナ消費ノ壓縮ヲヤメルコトガ出來ルナラ兎モ角、此ノ間伺ツタ食糧需給對策ノ具體案カラ拜見スル

ト、ドウモ中々サウ自由ニハ行キサウモアリマセヌカラ、是ハ五年十年此ノ方針ヲ繼續スル外バナイデセウ、サウスレバ、少シ手數ガ掛ツテモ、年齡ニ應ジテ食糧ノ増減ヲスルト云フヤウナコトマデモ進ンデ御調查ヲ願ツテオヤリニナツタ方ガ宜カラウト思ヒマスカラ、御参考ニ申上げテ置キマス、其ノ次ハ、此ノ間モ一寸伺ヒマシタガ、味噌ノ問題デス、詳シヨコトハ申シマセヌガ、先づ以テ東京、神奈川、愛知ヲ一團トシ、大阪、京都、兵庫ヲ二團トシテ、二割程度ノ味噌ノ生産減ニ依ル消費減ヲ政府ガ國民ニ要求シタト云フヤウナ譯ニアリマス、關東ト關西ニ相當ノ差ガアルコトハ、是ハ又現在ノ實情ガサウデアルノデスカラ仕方ガナイデセウガ、兎モ角モ、私共ノ見ル所デハ、生活必需品トシテハ、見ヤウニ依ツテハ味噌ハ米麥以上デアルトモ言ヒ得ルト思フノ豆ガ不足シタカラ已ムヲ得ズ味噌ノ消費ヲ減ラスノデアルト云フコトデアリマス、然ラバ何程ノ大豆ガ足リナカト云ヘバ、滿洲カラハ豫定ノ通り來ナイ、朝鮮カラモ來ナイ、殊ニ昨年ハ、北海道、東北ガ日本ノ大豆ノ產地デアルノニ、是ガ又非常ナル減收デアル、斯ウ云フコトノ爲ニ少クナツタ、斯ウ云フコトデ成程已ムヲ得ナイコトデアルト思ヒマス、併シ如何ニモ殘念デス、コトニ付キタコト存ジマス、是ハ非常ニ事務的ニ言フト面倒ダト思ヒマス、各戸々々ノ家族ノ年齢カラ何カラズツド調べテ行カナケレバナラヌノデスカラ非常ニ面倒ズケレドモ、併シ出來ナイコトハナイト思ヒマス、是ガ二年カ三年デ今ノヤウナ消費ノ壓縮ヲヤメルコトガ出來ルナラ兎モ角、此ノ間伺ツタ食糧需給對策ノ具體案カラ拜見スル

ト、ドウモ中々サウ自由ニハ行キサウモアリマセヌカラ、是ハ五年十年此ノ方針ヲ繼續スル外バナイデセウ、サウスレバ、少シ手數ガ掛ツテモ、年齡ニ應ジテ食糧ノ増減ヲスルト云フヤウナコトマデモ進ンデ御調查ヲ願ツテオヤリニナツタ方ガ宜カラウト思ヒマスカラ、御参考ニ申上げテ置キマス、其ノ次ハ、此ノ間モ一寸伺ヒマシタガ、味噌ノ問題デス、詳シヨコトハ申シマセヌガ、先づ以テ東京、神奈川、愛知ヲ一團トシ、大阪、京都、兵庫ヲ二團トシテ、二割程度ノ味噌ノ生産減ニ依ル消費減ヲ政府ガ國民ニ要求シタト云フヤウナ譯ニアリマス、關東ト關西ニ相當ノ差ガアルコト云ヘバ、一段歩一石ト見在ノ實情ガサウデアルノデスカラ仕方ガナイデセウガ、兎モ角モ、私共ノ見ル所デハ、生活必需品トシテハ、見ヤウニ依ツテハ味噌ハ米麥以上デアルトモ言ヒ得ルト思フノ豆ガ不足シタカラ已ムヲ得ズ味噌ノ消費ヲ減ラスノデアルト云フコトデアリマス、然ラバ何程ノ大豆ガ足リナカト云ヘバ、滿洲カラハ豫定ノ通り來ナイ、朝鮮カラモ來ナイ、殊ニ昨年ハ、北海道、東北ガ日本ノ大豆ノ產地デアルノニ、是ガ又非常ナル減收デアル、斯ウ云フコトノ爲ニ少クナツタ、斯ウ云フコトデ成程已ムヲ得ナイコトデアルト思ヒマス、併シ如何ニモ殘念デス、コトニ付キタコト存ジマス、是ハ非常ニ事務的ニ言フト面倒ダト思ヒマス、各戸々々ノ家族ノ年齢カラ何カラズツド調べテ行カナケレバナラヌノデスカラ非常ニ面倒ズケレドモ、併シ出來ナイコトハナイト思ヒマス、是ガ二年カ三年デ今ノヤウナ消費ノ壓縮ヲヤメルコトガ出來ルナラ兎モ角、此ノ間伺ツタ食糧需給對策ノ具體案カラ拜見スル

豆ハ足りナクナル、満洲カラモ來ナクナル
隨テ味噌ガ出來ナクナル、國民ノ健康ガ惡
クナルト云フコトニ注意ヲ拂ヘバ、此處マ
デ押詰メラレナイデモ濟ンダノデハナイカ
ト思フ、併シ大臣モ次官モ局長モ一年カ一
年半デ御迭リニナルノデアルカラ、マア是
ハ無理モナイケレドモ、又コンナコトヲ言
ツテモ後二三年經テバスツカリ迭ツテシマ
フ、一年カ一年半デチヨイ／＼御迭リニナ
ルノダカラ仕方ガナインカモ知レナイケレド
モ、兎ニ角殘念ダ、味噌マデ思フヤウニ國
民ニ與フルコトガ出來ナイト云フ所マデ行
詰ツタ狀態ニ陷レラレタコトハ私ハ吳々モ
殘念デス、殘念ダツテ出來タコトハ仕方ガ
ナイ、何トカ直ス方法ヲ講ジナケレバナラ
ヌ、即チ滿洲ヨリ二十七万石ノ大豆ヲ輸入
スルノ方法ヲ何トカシテヤルカ、若シソレ
ガ不可能デアレバ二万七千町歩ノ畑作ニ大
豆ヲ生産スルコトヲ統制令ニ依ツテ命令ス
ルカ、此ノ二ツノ途ヲ採ル外ネイ、一時的
ニハマア仕方ガアリマセヌケレドモ、此ノ
方法ヲ採レバ今年ノ秋アタリカラ或ハ來年
ノ春アタリカラハコンナケチナコトヲセズ
ニ濟ムヤウニナルト確信スルノデアリマス
ガ、如何デアリマスカ御答ヘラ顧ヒタイ
○井野國務大臣 高田委員ノ今御述ベニナ
リマシタ味噌ニ付キマシテハ、農林省トシ
マシテモ出來ルダケ斯ウ云ツタモノハ餘リ
統制的ナコトヲシナイデ過シテ參リタイト
考ヘテ居ツタノデアリマス、而シテ滿洲力
テノ大豆ガ十分ニ入ツテ來ナイ、内地ノ大
豆ハ不作ダト云フコトカラ、兎ニ角國民ニ
或ル最低限度ノ味噌ハ供給シタイ、之ヲ統
制セズニ放ツテ置キマスト、非常ニ食べル
者ハ澤山食ベマスガ、食べナイ者ハ殆ド食

ス、昨年ヨリ大豆ノ滿洲カラノ輸入計畫ハ全體數量ニ於テハ本年ハ昨年ヨリ重點的ニ多ク配給スルト云フコトニシテ居リマス、シテ居リマスガ各個人ニ最低限度ノ味噌ヲ與ヘタイト云フ氣持カラ統制致シタノデアリマス、デアリマスカラソレ以上食ベサスコトニ努力スルコトハ當然デアリマス、今御計算ノ二割減ヲ二十五万石トカ云フ御計算デアリマシタガ、其ノ計算ハ假ニ其ノ通りデナイト致シマシテモ、本年其ノ爲ニモ五万町歩ノ大豆ヲ增産致ス計畫ヲ立テタノデアリマス、出來テ來次第、又滿洲カラ船ノ都合デ入り次第、此ノ最低限度ヲ殖ヤシテ行クコトニハ努力致シマス、併シ各個人ニ是ダケノモノハ少クトモ渡ルノダト云フ安心ヲ與ヘル方ガ國民食糧ノ上ニ於テ適當デアルト考ヘテ、此ノ配給統制規則ヲ作ツタノデアリマス、デアリマスカラ此ノ規則ヲ作ラナイデ放ツテ置ケバ、或ハ人ニ依ツテハ非常ニ澤山食べマセウガ、マルデ食べラレナイト云フ者モ出來テ來テ、不公平ニナルト云フ所カラ是ハ非常ニ手續モ面倒デアリマスケレドモ、配給統制規則ニ依ツテ最も限度ノ公正ナル分配ヲ考ヘタ譯デアリマス、併シ味噌ハ國民ノ食糧トシマシテハ、米麥ニ次グ大事ナ物デアリマスカラ農林省トシテモ一粒デモ多クノ大豆ヲ滿洲カラ取ルコトニ今後モ努力致シマス、今大體滿洲ト話シテ居リマスル限度デ總テノ計畫ヲ致シテ居リマスケレドモ、船等ノ關係ノ付キ次第モツト殖ヤスコトニモ努力致シマス、又内地ニ於ケル増産モ今申シタ通り努力ヲ致シマシテ、サウシテ段々此ノ量ヲ減ヤシ

○高畠委員 私ハ配給統制ガ惡イト言フノ
デヤテインデス、斯ウ云フ場合ニハ宜イト
思ヒマスケレドモ、二割減ニシタノガ惡イ
ト言フンデス、一方ニハ澤山食ツテ居ル者
ガアリ、一方ニハ全然食ハナイ者ガアルト
云フ實情デスカラ、配給統制ハ宜イノデス
ケレドモ、二割減フシタコトガイカヌデヤ
ナイカ、斯ウ考ヘルノデス、デスカラ今ノ
問題ハ五万町歩ヲドウ云フ方法デ増産ナサ
ルノカ、之ヲ此ノ際伺ツテ置キタイト思フ
コトト、只今大臣ノ御言明ノコトハ無論サ
ウナケレバナラスト思ヒマスケレドモ、味
噌ガコマデ追詰メラレタト云フコトハ慘
メデヤアリマセヌカ、何トカ斯ウ云フコト
ガナイヤウニ先へトヤツテ戴キタイ、是
デヤイケマセヌ、先ニ各種ノ政策ヲ御立テ
ニナルヤウニ御願ヒシタイト思ヒマス

ナカツタコトヲ極メテ遺憾トスル、問題ガ起ツテカラ後、デヤルカラ何時、モ足リナクナルノデス、足リナクナルヤウナモノハ豫見シテ前ニ政策ヲ立テ戴キタイト思フ
モウ一ツ時間ガアリマスカラ食糧管理局長ニ伺フノデスガ、此ノ間一二、三同僚方集マツタ時ニ、一石五圓ノ獎勵金ト云フモノハナクナル時期ガ來ルンデヤナイカト云フコトヲ心配スル人ガアル、速記録ヲ見ルト本會議デ平野君デシタカノ質問ニ、農林大臣ハ今年モ來年モ出スト答辯シテ居ラレル、是ハ無論出サナケレバナリマセヌ、ドウ云フ點カラ疑問ガ起ルカト云フト、今度ノ法律ハ買入價格ハ生産費物價其ノ他ノ經濟事情ヲ斟酌シテ決メル、斯ウアルノデス、ソコデ生産費ト各種ノ事情ト云フコトデスガ、昭和十七年ニハ幾ラニナルカ知ラヌガ、昭和十六年ニハ五十圓近クナツタノデヤナイカト私ハ推定スル、サウスルト是ハ法律上ノ買入價格ニナルノデス、今ノ米穀統制法ハ昨年、一昨年ノ米價ヲ決定スル場合ニハ殆ド死法デス、所ガ今度ハ活キタ法律ヲ作ラントシツツアル、買入價格ト云フモノハ生産費「プラス」當時ノ經濟事情ト云フコトニナリマスケレドモ、其ノ内ノ五圓ト云フモノハ生産獎勵金ト云フ名前デ森林省ノ一般會計カラ出テ、四十五圓ト云フモノガ買入價格ニナル、何カ法律ノ書キ方ト豫算ノ作リ方ガシツクリ合ハナイカラ、生産獎勵金ハ何時カ減ラサレルグラウト云フヤウナ疑問ガ出ルンデヤナイカト思フノデスケレドモ、何カ旨イ方法デ分リ易クスルコトハ出来ナイモノカ、其フ點ヲ伺ヒタイ

ニナツテ居リマス、其ノ生産費ガ實ハ色々ノ經濟事情ノ變遷デ高クナツテ參リマシテ、現在約五十圓ガラミニナツテ居ルカト存ジマス、ソレデ此ノ規定ノ通りニ生産費デ買ツテ參ルト致シマスレバ、政府ノ買入價格ハ五十圓ニナル譯デアリマスガ、只今高田委員ノ仰セノ通りニ現在一石ニ付キ五圓ノ生産獎勵金ガ出テ居リマス、是等ノ生産獎勵金ト云フモノハ生産費ノ計算ニ於キマシテハ、副收入ト同ジヤウニ生産費ノ計算ノ中カラ差引クベキモノト信ズルノデアリマス、隨ヒマシテ生産獎勵金ヲ今後續イテ政府ガ支出スルヤウニナリマスレバ、生産費ハ一石當リ四十五圓ト云フコトニ寧ロ計算ス

○高田委員 大體ソソナ御説明ダト思ツテソレデ高田委員ノ御心配ハ恐ラク生産獎勵金ハ豫算デ組ンデアルカラ、是ハ豫算ガ不成立トカ、或ハ將來落スヤウナ場合ガアリハシナイカト云フ御懸念デアラウト思ヒマスガ、若シモ豫算上サウ云フ生産獎勵金ガナクナレバ生産費ガ五十圓ニナルノデアリマシテ、農家カラ買上ダル價格ハ政府ガ五十圓デ買ハナケレバナラ又ト云フコトニナルノデアリマス、所ガ色々研究シマシテ二重價格ノ制度ヲ執リ、五十圓ノ價格デ之ヲ買ツテシマフコトハ實際只今ノ日本ノ小作事情カラ申シマシテ適當デナイ、此ノ獎勵金制度ト云フモノハサウ云フ小作地主間ノ關係ヲ調節スル上ニ於テ意味ノアルコトデアリマスカラ、是ハ一般會計ノ方デ是非斯ウ云フ形デ當分存置シテ置イテ戴キタイト思フノデアリマス、ソレデ一般會計ノ方ノ生産獎勵金ニ付キマシテハ、政府ノ方ニ於テ相當シツカリシタ財源ノ目當方付イテ居ルコトヲ私共モ伺ツテ居ルノデアリマス、サ

ウ一朝一夕ニ消エテシマフモノデハナイト思フノデアリマス、是ガ若シ變ルト致シマスレバ、或ハ特別會計ノ方デ負擔致シマシテハ五十圓ニナル譯デアリマスガ、只今高田委員ノ仰セノ通りニ現在一石ニ付キ五圓ノ生産費ハ寧ロ四十五圓ト見ル方ガ宜イト、斯ウ思フノデアリマス、之ヲ法律ノ上ニドテ現ハスカト云フコトニナルト、是ハマア此ノ形式デ御協贊ヲ願ヒ勅令等ノ制定、或ハ實施ノ上ニ於キマシテ其ノ點ハ十分手落スノナイヤウニ行ク、斯ウ云フ風ニ思フノデ

○高田委員 大體ソソナ御説明ダト思ツテ居マシタガ何ダカハツキリシナイ、要スルニ法律デハ買入價格デ決メテ置イテ、實際ハ五圓引イタ價格ト云フノデスカラ、何トカ法律ト豫算ガ合體シテ分リ宜クナルヤウニ方法ガアツタラシテ貰ヒタイト思ヒマス、草取リデモ其ノ通じテ居ルノデアリマスカラ、其ノ結果ハ必ず收益ニ關係ヲ來シマス、草取リデモ其ノ通リデス、之ニハエライ罰則ナドガ附イテ居ソレヲ田植ノ上手下手ガ一緒にナツテヤツテ居ルノデアリマスカラ、其ノ結果ハ必ず收益ニ關係ヲ來シマス、草取リデモ其ノ通リデス、之ニハエライ罰則ナドガ附イテ居ソテ、唯小作料ヲ取ルダケニ農村ニ歸ル、或ハ管理人ヲ置イテ小作料ヲ取ツテ居ル、是ハ少シモ増産ニハ協力シマセヌヨ、ソコリデス、其ノ點ニ於テ、農民ノ中ニハ良イモノヲ言フノデハアリスマイガ、大臣ノ言フノハソレモ舍マレテ居ルヤウニ思ヒマスカラ、其ノ點ニ於テ、農民ノ中ニハ良イモノモアルガ、地主ノ中ニハ惡イモノモ居ルト云フコトヲ知ツテ戴キタイ、ソレデ是カラノ御演説ノ方針モ、感謝シテモ宜イガ、感謝シナイデ宜イモノモ居ルト云フコトデ、努メテ其ノ意味デ御話願フヒタイ是カラハサウ云フ風ニ御願ヒヲ致シマス、餘り感謝感謝ト怠ケ者マデ褒メルヤウナ言葉ハ控ヘテ戴キタイト思ヒマス

○三善委員 各委員カラモマダ質疑ガアルヤウデアリマスガ、便宜上私カラ政府ノ御意見ヲ伺フコトニ致シタイト思ヒマス、第一點ハ中央ニ食糧營團、地方ニ食糧營團ガ設立サレルノデアリマスルガ、此ノ構成

員トシテ中央ニモ地方ニモソレバ、^ノ産業組

セマシテ適當ナル措置ヲ執リタイト思ヒマス

合ノ出資ヲ認メラレルカドウカ、ソレガ第
一デアリマス、次ニハ農村ニ於ケル米麥ノ
配給ハ、配給所ヲ設置セラルヨリモ、寧
ロ産業組合ヲシテ配給セシムルコトガ便利
ト思ヒマスガ、之ニ對シマシテ政府ハ此ノ農
村配給ニ對シテドウ云フ所信ヲ持ツテ居ラ
レルノデアルカ、先づ其ノ點ヲ御伺ヒ致シ
マス

○湯河政府委員 营團ノ出資者ト致シマシ
テ産業組合ヲ認メルカドウカト云フ點デゴ
ザイマスガ、是ハ中央營團ニ於キマシテモ、
地方營團ニ於キマシテモ、ヤハリ産業組合
ノ關係が深イノデアリマシテ、是ハ出資ヲ
サセタ方ガ宜イト思ツテ居リマス、中央ニ
於キマシテハ現ニ日本米穀株式會社ノ資本
金ハ一部産業組合系統デ持ツテ居リマス、
デゴザイマスカラ是等ノモノハ中央營團ニ
其ノ儘吸收サレルコトニ相成ルノデアリマ
ス、地方ニ於キマシテハ是ハ地方營團ノ性
質上、寧ロ道府縣聯合會ガ之ニ出資スルコ
トガ適當デハナイカト思ツテ居リマス、尙
ホ此ノ點ニ付キマシテハ産業組合ノ關係者
ハ篤ト相談致シタイト思ヒマス、第二ハ農
村ノ米麥配給ノ關係ニ付キマシテハ、配給
所ヲ設ケルヨリモ産業組合ヲシテ當ラシメタ
方ガ宜クハナイカト云フヤウナコトデゴザ
イマスガ、是ハ毎々御答ヘテ致シテ居リマ
スヤウニ、其ノ地方ノ實情ニ應ジマシテ產
業組合ヲシテ當ラシメルコトガ適當ノ場合
ニハ産業組合ヲシテ配給セシメタイト思ツ
テ居リマス、但シ農村ノ實情カラ致シマシ
テモヤハリ從來ノ配給擔當者ガソレバ、ア
ルモノモアリマスカラ是等ノ人達ノ從來ノ
業績ト云フカ、仕事振り等モ十分考へ合ハ

○三善委員長 次ニ肥料ノ一元的配給ト云
ス

或ハ産業組合、或ハ商業組合ト二元的ニ配
給サレテ居リマスガ、農村ノ事情カラ申シ
マスト、二元的ニ配給サルルコトハ、勞力ノ
上カラ申シマシテモ、或ハ之ヲ配分スル點
カラ申シマシテモ、不便非常ニ少クナイン
數料ヲ取ルコトハ別ニ矛盾ハナイト云フヤ
ウナ御意見ノヤウデアリマス、併シナガラ
検査手數料ニ付テ考ヘテ見マスト、或ハ
米ニ對シテハ一俵五錢五厘、小麥、穀麥等
ニ對シマシテハ三錢五厘、大麥ガ三錢ト斯
ウ僅カノ手數料ヲ取リマスコトハ、其ノ手
數料ヲ取ル上ニ付キマシテモ非常ニ煩瑣デ
アリマスノデ、是ハ今後生産費及ビ其ノ他
物價事情等ヲ參酌シテ、買入價格ヲ決メラ
レル場合ニ適當ニ考慮セラレテ、検査手數
料ハ政府ニテ負擔セラレルト云フ方途ヲ講
ゼラレルコトガ、生産者トシテハ非常ニ便
利デモアルシ、其ノ方ガ適當デハナイカ、
斯ウ考ヘマスノデ、此ノ點ニ對シテ將來ノ
考ヘテ御伺ヒ致シテ見タイト思ヒマス

○岡本政府委員 肥料ノ一元配給ニ付キマ
シテ、其ノ必要ヲ認メルコトハ全然同感デ
アリマシテ、其ノ趣旨ニ於キマシテ從來モ
農林、商工兩次官ノ通牒等ニ依リマンシ指
導ニ努メテ參ツテ居リマス、最近ニ於キマ
シテハ全國ノ中二十五府縣ニ於キマシテ、
何等カノ形ニ於テノ産業組合及ビ商業組合
系統ノ一元配給ノ形ヲ既ニ取ツテ居リマ
ス、例ヘバ道府縣ヲ區域トスル兩園體間ノ
横流シノ方法、或ハ町村ヲ區域トスル兩園
體間ノ横流シノ方法、或ハ共同配給所ノ設
置等、大體大別シテ四ツノ形ヲ取ツテ居ル
ヤウニ認メラレマスガ、ソレ等ノ形ニ於キ
マシテ、實質上一元配給ニ等シヤウナ方
法ヲ執リツツアリマス、尙ホ左様ナ府縣ハ
漸次増加シツツアル傾向ニアリマス、政府
ニ於キマシテモ道府縣ノ實情ニ即シマシ
テ、一元配給ノ實ヲ舉ガマスヤウニ、今後
トモ十分ナル努力ヲ致シテ參ル覺悟デゴザ

○三善委員長 イマス

是ハ農村總テノ聲デアリマスカラ、各府縣
區タデナクシテ、モツト大筋ノ一元的配給
ト云フ根本方針ヲ御決メ下サツテ、其ノ方
針ノ下ニ配給セラレント要望シタイト
思ヒマス

次ニハ甘譜、馬鈴薯ノ問題デアリマス

ガ、今回ノ食糧營團ハ現在ノ甘譜、馬鈴薯
統制株式會社ハ營團ニ吸收セナイト云フコ
トヲ言ツテ居テレマス、然ルニ一面ニハ、
營團ハ米麥其ノ他甘譜、馬鈴薯ヲ取扱フ、
斯ウ云フコトヲモ言ハレマスノデ、サウ云フ
コトニナリマスト或ハ會社ハ必要デハナイ
デハナイカド云フコトヲ考ヘラレマスシ、
一面又吸收セナイトモ言ハレマスカラ、會
社ハ存置セラルルヤウニモ聞エルノデアリ
マスガ、此ノ點ハ明瞭ニサレタイト思ヒマ
ス、尙ホ甘譜、馬鈴薯等ノ業務用又ハ家庭
用ノ副食物トシテ食ベマスモノニ對シテ
ハ、現在ノ通り市場ヲ通シテ行カレルノデ
アルカドウカト云フ點デアリマス、尙ホ政
府が買上ゲントスル所ノ鹽干魚類及び冷凍
魚類、或ハ漬物等、所謂貯藏ノ目的ヲ以テ
政府が買上グル場合ニハ中央市場ヲ通シテ
買ハレルノデアルカ、生産者カラ直接買ハ
レルノデアルカ、此ノ點ヲ一括シテ政府ノ
御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○湯河政府委員 日本甘譜馬鈴薯會社ノコ
トニ付キマシテハ、此ノ前申上げマシタヤ
ウニ、中央營團ニ統合シナイ考ヘテ持ツテ
居リマス、日本甘譜馬鈴薯會社ハ甘譜ノ集
荷配給ノ方ニ於キマシテ、獨リ食用ノミナ
ラズ、其ノ他ノ工業用ノ用途ガアリマスル
居リマス、日本甘譜馬鈴薯會社ハ甘譜ノ集

トモ十分ナル努力ヲ致シテ參ル覺悟デゴザ

甘譜、馬鈴薯ノ配給ノ任ニ當ル會社デアリ

第六類第二號 米穀需給調節特別會計法中改正法律案委員會議錄 第八回 昭和十七年二月二日

マスノデ、中央營團ニ之ヲ吸收スルト云フ
コトヲシナイ方ガ適當ダト思ツテ居リマス、隨テ營團ノ出來マシタ後ニ於テハ營團
ハ此ノ甘諸馬鈴薯會社カラ食用トシテノ配
給用ノ甘諸、馬鈴薯ヲ買フト云フ仕組ニナルノデアリマス、甘諸馬鈴薯會社ノサウ云
フ立場ヲ能ク御諒解ヲ願ヒマシテ仕事ヲシ
テ參りタイト考ヘテ居ルノデアリマス、ソ
レカラ甘諸、馬鈴薯ノ配給ニ當リマシテ、
副食物用或ハ業務用ノモノヲ配給スル、之
ニ付テハ市場ヲ通スノカドウカト云フコ
トデゴザイマスガ、差當ツテ此ノ營團ノ扱
ヒマス甘諸、馬鈴薯、所謂食用トシテ綜合
配給スル甘諸、馬鈴薯、此ノ扱ヒニ付キマ
シテハ、現ニ東京デ取扱ツタ例ガゴザイマ
ス、甘諸馬鈴薯會社ヨリ營團ガ直接買ヒマ
シテ、之ヲ配給所ヲ通シテ配給スルコトニ
ナリマスカラ、市場ヲ通スト云フコトハナ
イノデゴザイマス、業務用其ノ他ノ甘諸、
馬鈴薯ノ取扱ニ付キマシテハ、實體ニ能ク
即シマシテ處置ヲ研究シテ行キタイト考ヘ
テ居リマス、差當リヤラウトシテ居リマス
綜合配給ノ甘諸、馬鈴薯ニ付キマシテハ、
市場ニ關係ハナイトハツキリ申上げマス、
マスガ、是ハ大體從來ノ配給機構カラ、之
ヲ買上ゲルト云フ考ヘヲ持ツテ居ルノデア
リマス、例ヘバ罐詰ニハ罐詰ノ共販會社
ガ、鹽干魚ナラ鹽干魚トシテノ公式ノ集荷
配給統制機關ガソレヽゴザイマスカラ、
ソレカラ中央營團が買フト云フ考ヘヲ持ツ
テ居ルノデアリマス

○三善委員長 質疑ハ是ニテ全部終了致シ
改正法律案、木炭需給調節特別會計法中
正リマス、是ヨリ米穀需給調節特別會計法
入リマス——岩瀬亮君

○岩瀬委員 私ハ翼賛議員同盟ヲ代表シ
テ、米穀管理法案外二件ニ付キ賛成致スモ
ノデゴザイマス、戰時下ニ於テ主要食糧ノ
國家管理制度ヲ整備強化シ、國民食糧ノ碎
保ト國民經濟ノ安定ヲ圖ラネバナリマセヌ
コトハ、申スマデモナイノデアリマス、
政府ハ食糧營團ヲ創設セシメ、主要食糧ノ
綜合配給ニ關スル事業ヲナサシメルコトニ
ナツテ居リマスルガ、是ガ機構、是ガ運營
ニ於テ自給自足ヲ原則トセラル旨明致
シマシタコトハ、大イニ意ヲ強ウスル次第
デアリマスガ、現行ノ米穀事情ヨリ稽ヘ、
生産ノ確保ニ對シ農家ニ於テ必要トスル生
產資材ニ付キマシテハ、出來得ル限り是ガ
供給ニ努メ、生産ニ支障ナキヤウニ致スペ
キデアリマス、又生産物ノ價格ニ付キマシ
テハ、絕對ニ生産費ヲ低下セシメザルノミ
ナラズ、十分ニ農民ノ勞ニ報イルダケノ價
格トシ、以テ農村ガ安ンジテ生産ニ從事シ
得ルヤウ致サネバナラヌノデアリマス、以
上希望ヲ申上げマシテ三案ニ賛成致スモノ
デアリマス

○森(幸)委員 私ハ同交會ヲ代表致シマシ
テ、食糧管理法案外二法案ニ對シテ原案ニ
贊成ノ意ヲ表スルモノデアリマス、此ノ際
二、三ノ希望ヲ申上げタイト思フノデアリ
マス、ソレハ先般來ノ委員ト政府トノ應答
ニ依リマシテ、政府ノ此ノ法案執行ニ對ス
ル處置ニ對シテ、大體ノ諒解ヲ得タノデア
リマス

○岩瀬委員 私ハ第一控室ヲ代表シマシテ
法案、右三案ヲ一括シテ議題トナシ討論ニ
入リマス——岩瀬亮君

○岩瀬委員 私ハ翼賛議員同盟ヲ代表シ
テ、米穀管理法案外二件ニ付キ賛成致スモ
ノデゴザイマス、戰時下ニ於テ主要食糧ノ
國家管理制度ヲ整備強化シ、國民食糧ノ碎
保ト國民經濟ノ安定ヲ圖ラネバナリマセヌ
コトハ、申スマデモナイノデアリマス、
政府ハ食糧營團ヲ創設セシメ、主要食糧ノ
綜合配給ニ關スル事業ヲナサシメルコトニ
ナツテ居リマスルガ、是ガ機構、是ガ運營
ニ於テ自給自足ヲ原則トセラル旨明致
シマシタコトハ、大イニ意ヲ強ウスル次第
デアリマスガ、現行ノ米穀事情ヨリ稽ヘ、
生産ノ確保ニ對シ農家ニ於テ必要トスル生
產資材ニ付キマシテハ、出來得ル限り是ガ
供給ニ努メ、生産ニ支障ナキヤウニ致スペ
キデアリマス、又生産物ノ價格ニ付キマシ
テハ、絕對ニ生産費ヲ低下セシメザルノミ
ナラズ、十分ニ農民ノ勞ニ報イルダケノ價
格トシ、以テ農村ガ安ンジテ生産ニ從事シ
得ルヤウ致サネバナラヌノデアリマス、以
上希望ヲ申上げマシテ三案ニ賛成致スモノ
デアリマス

○三善委員長 森幸太郎君

○野溝委員 私ハ第一控室ヲ代表シマシテ
食糧管理法案外二件ノ案ニ對シマシテ賛成
ノ意思ヲ表スル者デゴザイマス、贊成ノ意
思ヲ表スルニ當リマシテ、二、三所見ヲ申
上げ、希望ヲ附シテ政府ノ一層ノ御配慮ヲ
願ヒタイト思フ者デアリマス、既ニ米穀ニ
付テハ本法案ノ內容ヲ見マスルト、大體ニ
於テ專賣制ニ向ツテ居ルヤウニ思ヒマス、
又小麥、雜穀及ビ甘諸、馬鈴薯、干麵、干
「パン」等ニ對シマシテハ、配給統制ノ強化
ガ裏付ケヲシテ居ルヤウニ思ヒマス、尙ホ
タヤウニ思ヒマス、今マデ物資別ニ行ツテ
來マシタ統制ヲ一元化シマシテ、之ヲ綜合
公平第一主義ニ依ラントスル所ニ狃ヒ所ガ
シテ意見ノ交換ヲ致シタノデアリマスガ、
マシテハ過般政府ト其ノ所信ヲ異ニ致シマ
シテ意見ノ交換ヲ致シタノデアリマスガ、
政府ノ御計畫ヲ先般承リマシテ、洵ニ妥當
ノコトト考ヘルノデアリマス、唯私ハ政府
ノ此ノ御持チニナツテ居ル計畫ニ付テハ、
關係法規ノ整備ト云フヤウナコトガ本案ノ

リマスガ、其ノ政府ノ執行サレル上ニ於キ
マシテ、尙ホ二、三希望ヲ附ケ加ヘタイト
存ジマス

第一ハ検査ノ執行ニ當リマシテ、政府ノ
買上ゲノ趣旨ニ則リマシテ、其ノ検査ノ方
法ヲ出來得ルダケ簡易化セシメ、サウシテ
妥當ナル検査法デアラシメタイト思フノデ
アリマス、成ベク等級ノ如キモノモ之ヲ整
理セラレテ、簡単ニ検査ヲ執行シ得ルヤウ
ニ致サレタイノデアリマス、尙ホ從來ノ地
方検査員トノ相剋摩擦ノ起ラナイヤウ、又
検査員ガ官僚化セナイヤウニ特ニ注意ヲセ
ラレタインデアリマス、又政府ノ御
方針トハ誤ツタ處置デハアリマスルガ、現
在地主ノ自家用保有米ニ對スル小作料ノ檢
査ガ成規ノ手續ニ依ル二重俵ノ検査或ハ叭
入りノ検査ヲ執行サレテ居ルノデアリマ
ス、是ハ物資ノ上カラ申シマシテモ、又生
產者ノ手數ノ上カラ見マシテモ、洵ニ迷惑
モ拘ラズ、地方ニ於キマシテハ、尙ホ其ノ
政府ノ趣旨ノ徹底ヲ缺イテ居ル向ガアリマ
ス、此ノ點ハ十分ニ地方ニ對シテ御注意ヲ
願ツテ、生產者ノ迷惑ノ掛カラナイヤウニ
シテ戴キタイコトヲ特ニ希望スル次第デア
リマス

○三善委員長 野溝君

○野溝委員 私ハ第一控室ヲ代表シマシテ
食糧管理法案外二件ノ案ニ對シマシテ賛成
ノ意思ヲ表スル者デゴザイマス、贊成ノ意
思ヲ表スルニ當リマシテ、二、三所見ヲ申
上げ、希望ヲ附シテ政府ノ一層ノ御配慮ヲ
願ヒタイト思フ者デアリマス、既ニ米穀ニ
付テハ本法案ノ內容ヲ見マスルト、大體ニ
於テ專賣制ニ向ツテ居ルヤウニ思ヒマス、
又小麥、雜穀及ビ甘諸、馬鈴薯、干麵、干
「パン」等ニ對シマシテハ、配給統制ノ強化
ガ裏付ケヲシテ居ルヤウニ思ヒマス、尙ホ
タヤウニ思ヒマス、今マデ物資別ニ行ツテ
來マシタ統制ヲ一元化シマシテ、之ヲ綜合
公平第一主義ニ依ラントスル所ニ狃ヒ所ガ
シテ意見ノ交換ヲ致シタノデアリマスガ、
マシテハ過般政府ト其ノ所信ヲ異ニ致シマ
シテ意見ノ交換ヲ致シタノデアリマスガ、
政府ノ御計畫ヲ先般承リマシテ、洵ニ妥當
ノコトト考ヘルノデアリマス、唯私ハ政府
ノ此ノ御持チニナツテ居ル計畫ニ付テハ、
關係法規ノ整備ト云フヤウナコトガ本案ノ

内容ト存ジマス、戰時下ノ緊急處理ト致シ
マシテハ沟ニ妥當性アルモノト思ヒマシテ
贊成ヲスルノデアリマスガ、併シ唯織込ン
ダト云フダケデハ、何等此ノ内容ヲ徹底シ、
ソレヲ生カシ其ノ目的完遂ト云フコトハ出
來ナイト思ヒマス、デアリマスカラ私ハ其
ノ精神内容ニハ贊成ヲスルノデアリマスガ、
其ノ内容ヲ愈々貫徹スル場合ニ於テ、左ノ希
望意見ヲ申上げ以テ内容運營ノ際ニ能ク考
慮ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

第一ハ、同志諸君ニ依リマシテモ主張サ
レテ居リマス通り、何ト致シマシテモ目的
ヲ達スルニハ物ガ對象トナルノデアリマス、
コソ「デスク・プラン」デアリマシテ、其ノ
「プラン」ト云フモノハ何等生キテ來マセ
ヌ、要ハ物デアリマス、其ノ物ノ存在ヲド
ウ云フヤウニスルカ、又物ノ存在ヲドノ程
度ニ殖ヤスカト云フコトニ依ツテ本案ガ生
キテ來ルト思フノデアリマス、デアリマス
カラ物ヲ存在セシムル、アラシメル、造ラ
シメルト云フコトガ主ナル「ポイント」デナ
クテハナラヌ、ソレニハドウモ、生產計畫
ニ付キマシテハ生產統制令ナド色々出來
居リマスガ、物ヲ作ル所ノ生產、農民ニ對
スル期待ト云ヒマセウカ關心ト云ヒマセウ
カ、其ノ點ガ非常ニ缺ケテ居ルヤウニ思フノ
デアリマス、特ニ米麥ノ生產費ノ問題ニ致シ
マシテモ、木炭ノ生產費ノ問題ニシテ居ルノ
モ、或ハ甘薯ノ生產費ノ問題ニ致シマシテ
モ、依然トシテ戰爭前ノ物價指數生產費指
數ト云フモノヲ基本ニシテ居ルノデアリマ
シテ、其ノ後ニ於ケル物價ノ昂騰ニ依ル生
產費指數ト云フモノヲ見テ居ラヌヤサニ思
ヒマス、其ノ點ガ最モ私ノ遺憾トスル點デ

アリマシテ、斯フ云フ點ニ付キマシテハ十分
御配慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

第二ノ希望意見ト致シマシテハ、農地制度
ノ改革デアリマス、色々ト食糧增産ニ對スル
御所見ヲ拜聽シタノデアリマスガ、科學的
經營ニ依ル所ノ增產計畫ト云フ點ニ付テ政
府當局へ考へテ居ラヌヤウニ私ハ思ヒマス、
是ハ沟ニ遺憾デアリマス、病蟲害ノ驅除デ
アルトカ、或ハ耕種改善デアルトカ、色々
ナ施設、今回ノ農林省豫算ヲ見マシテモ、
増產ニ關スル色々ナ施設ガ織込マレテ居リ
マスガ、モツト科學的デアリ集約的農業經
營ヲサセルコトガ絕對ニ必要デアリマス、其
ノ科學性ノ農業經營ニ依ツテ農村ノ勞力ハ
非常ニ減ラスコトガ出來マス、ソコデ其ノ
餘剩勞力ヲ以テ軍需工業ノ生產ノ方へ力ヲ
向ケルト云フコトガ宜イノデアリマシテ、
現在ノ制度内容ニ於テ農村勞力ノ餘剩ヲ餘
度ニ殖ヤスカト云フコトニ依ツテ本案ガ生
キテ來ルト思フノデアリマス、デアリマス
カラ物ヲ存在セシムル、アラシメル、造ラ
シメルト云フコトガ主ナル「ポイント」デナ
クテハナラヌ、ソレニハドウモ、生產計畫
ニ付キマシテハ生產統制令ナド色々出來
居リマスガ、物ヲ作ル所ノ生產、農民ニ對
スル期待ト云ヒマセウカ關心ト云ヒマセウ
カ、其ノ點ガ非常ニ缺ケテ居ルヤウニ思フノ
デアリマス、特ニ米麥ノ生產費ノ問題ニ致シ
マシテモ、木炭ノ生產費ノ問題ニシテ居ルノ
モ、或ハ甘薯ノ生產費ノ問題ニ致シマシテ
モ、依然トシテ戰爭前ノ物價指數生產費指
數ト云フモノヲ基本ニシテ居ルノデアリマ
シテ、其ノ後ニ於ケル物價ノ昂騰ニ依ル生
產費指數ト云フモノヲ見テ居ラヌヤサニ思
ヒマス、其ノ點ガ最モ私ノ遺憾トスル點デ

ナケレバナラナイノデスガ、是ハ飼料トノ關
聯ニ於テ相當困難ナ問題ガソニ生起シテ
來ルノデアリマス、併シ是モヤリヤウニ
依ツテハ私ハ解決スルコトガ出來ルト思フ、

過般農林大臣官邸ニ於テ生產農民ノ篤農家
懇談會ガ開催サレタ、其ノ當時ニ於ケル出
席者ノ意見ヲ聽キマスルト、殆ドロヲ捕ヘ
農業ニアルト云フコトハ、恐ラク大臣モ次
タヤウニ其ノ效果ヲ擧ゲタ原因ガ皆有畜
官モ御諒承ノコトト思ヒマス、如何ニ此ノ
有畜農業方戰時下ニ於ケル生產ニ大キナ役
割ヲ占メテ居ルカト云フコトハ、此ノ一點
ニ於テモ雄辯ニ物語ツテ居ルノデアリマス
カラ、是非此ノ點ハ徹底的ナル普及ト、サ
ウシテ此ノ施設ニ對シマシテハ十分ナル御
配慮ヲ願ヒタイト存ズルノデアリマス

第五點ニ於キマシテハ生鮮食糧配給機構
ノ整備刷新ヲ期セラレタイ、是ハ昨日來同
僚淺沼君等々カラモ要望サレテ居リマシ
タ、下ウカ一ツ生鮮食糧配給機構ニ付テハ
十分ナ御幹旋ヲ願ヒタイト思ヒマス、仲買
人ヲ廢ヌサセテ他ノ組合ヲ作ラシテ見タ所
デ、ヤハリ仲買人ト同ジヤウナ手數料ヲ取
リ、仲買人ガ其ノ機構ノ中ニ入ツテ行クヤ
ウデハ意味ヲナサヌ、此ノ點ハ私ハ近ク出
來ル所ノ木材統制會社ニ付テ見テモ、生鮮
食糧ト同ジヤウナ機構ガ出來ルヤウニ聞イ
テ居ル、斯ウ云フ點ハ十分ニ注意シテ戴キ
タイト思フノデアリマス

最後ニ米ノ配給ニ對シテ御願ヒシテ置キ
マスガ、是ハ重點主義ヲ強化シテ戴キタイ
ト思ヒマス、今日デモ吾々成人ニ對シテハ二
合三勧告當ヲ受ケテ居リマスガ、勞務者ニ
對シテハ少シ區別ヲサレテ居リマス、併シ
今ノヤウナ區別ノ程度デハ實際勞務者トシ
テハ増產ニ力ヲ注グコトハ無理デアリマス、
特ニ山間ニ於ケル木炭勞働者ノ生活狀況ナ
ドハ實ニ憐レデアリマス、木炭生產者ナド
ハ殆ド耕作シテ居リマセス、皆買食ヒデア
リマス、特ニ木炭ヲ生產スルヤウナ場所ハ
山地デアリマシテ、其ノ部落デハ殆ド水田
ヲ經營シテ居ラナイ、勢ヒ町ニ下ルトカ他
所ヘ行クトカ云フコトニ依ツテ其ノ不足分
ヲ補フ、勿論村ニ於ケル配給切符ハ戴キマ
スカラ、ソレハ一定數量ダケハ貰ヘマスケ
レドモ、逆モソレダケデハ腹ガ減ツテドウ
スルコトモ出來ナインオデアリマス、サウ云

農業ノ科學化ヲ圖ツテ、ソレニ依ツテ農
民ニ希望ヲ持タセテ增產運動ニ眞一文字ニ
邁進サセルト云フコトニ御配慮ヲ願ヒタイト
ト思ヒマス

第三點ハ有畜農業ノ普及徹底デアリマス、
金肥ニ付キマシテハ存分ニ行キマセヌ、ソ
レドコロカ加里肥料ニ付テハ數万「トン」位
デ、實際情ナシ状態デアリマス、併シ是モ
致シ方アリマセヌ、シテ見ルト、金肥ニ代
手數料ヲ天剣ネシテ居ル、手數料ノ中間攢
取ヲヤラレタノデハ農民ハウダツガ上リマ
セス、デアリマスカラ幾ラ一元化ヲサレマ
シテモ、要ハ手數料ノ點ヲ無視シタ一元化
ト云フコトハ意味ヲ成サナイ、吾々ガ肥料
配給ノ一元化ヲ要求シマスルノハ、成ベク
肥料ガ速カニ手ニ届クト云フコトヲ要求ス
ルト同時ニ、手數料ト云フヤウナモノモ成
ベク少クサシタイト云フ所ニ私ノ一元化精
神ガアルノデアリマスカラ、唯肥料配給ノ機

フ人々ニ對シマシテハ此ノ際何トカ配給ノ
數量ニ對シテ今少シク割當テヲ増加シテ貰
フヤウニ重點的ニ配給ヲ強化シテ戴キタ
イ、私ハ以上ノ希望ヲ申上ゲマシテ三案ニ
對シテ贊成ノ意思ヲ表スル者デアリマス

○三善委員長 松本治一郎君

○松本(治)委員 私ハ興亞議員同盟ヲ代表

致シマシテ、政府提出ノ食糧管理法案外二案

ニ付テ希望意見ヲ簡單ニ述ベマシテ、右三

案ニ對シテ贊成ノ意ヲ表セントスルノデア

リマス、抑、食糧問題タルヤ、直チニ國民ノ

體力ニ關係ヲ持ツモノニアリ、國民ノ體力

ノ強弱ハ又各種ノ生產力ニ響クモノニアリ

マス、生産力ノ消長ハ國力及ビ戰力ニ至大

ナル關係ヲ有スルモノニアツテ、現下我ガ

國ハ大東亞戰爭ノ完遂ニ邁進シテ居ル、而

モ長期戰ヲ覺悟シナケレバナラナイ、其ノ

長期戰ニ對應スル時ニハ殊更ニ食糧ノ問題

ガ緊要事中ノ最大緊要事デアリマスコトハ

論ヲ俟タナイ所デアリマシテ、此ノ食糧問

題ノ運營ノ如何ハ大東亞戰爭ノ成否ニモ係

ハル重大事ナルガ故ニ、數日ノ長キニ亘ツ

テ各委員ヨリ熱心ナル質問竝ニ注意、要望

等モアツタノデアリマス、故ニ政府當局ハ

運營ノ上ニ十分ナル熱意ト周到ナル注意ヲ

拂ツテ、責任ヲ持ツテ善處セラレルコトト

思ヒマスカラ、時局柄贊意ヲ表スル者デア

リマス

○三善委員長 討論ハ是ニテ終了致シマシ
タ、直チニ採決ヲ致シマス、右三案ニ付キ
贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
(總員起立)

○三善委員長 起立總員
(拍手起立)

○三善委員長 仍テ原案通り可決サレマシ